

農業・農村の多面的機能

半数が知らず 理解醸成が課題に

国民の約半数が、農業・農村が持つ多面的機能を認知していないことが、10月31日に公表された農林水産省の調査結果で分かった。農業・農村は洪水防止や自然環境の保全、良好な景観形成など国民の生活に不可欠で多様な役割を担っており、より一層の理解醸成へ積極的な情報の発信などが重要といえそう。

調査は今年8月下旬から9月上旬に行われ、全国の20歳以上の1102人が回答。多面的機能を「知らない」は51・1%で、「知っている」は48・9%となった。知っていると答えた人のうち、約半数が「『多面的機能』と呼んでいることを知らない」ことも分かった。

また、多面的機能で特に重要と思う役割は「洪水を防ぐ」が57・2%で最も多く、「多様な生き物のすみかになる」(39・1%)、「土砂の流出を防ぐ」(36・8%)、「川の流れを安定させる」(30・9%)、

「癒やしや安らぎをもたらす」(24・8%)の順。なお、多面的機能を守るため

の活動については「協力したい(機会があれば含む)」が77・3%で、40歳未満の若い世代ほど積極的な協力を希望する割合が高い傾向が見られた。